【授業科目】母子支援看護学演習Ⅰ（研究方法）（母子共通科目）Advanced Seminar of Child and Mother Health Nursing Ⅰ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
別所 史子、日比 千恵、増田 由美	1年次 後期	選択	2	60	演習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	母子およびその家族に関連の文献講読を通して、看護実践の向上に寄与する看護研究の意義を理解する。看護研究の理論的基盤や基本的な方法論を学び、目的に合致した研究デザイン、データ収集、分析方法を選択できる能力を養う。 文献講読を通して専門性を深め、看護実践に必要な看護介入方法を開発するための基礎的能力を養う。 対象に対する倫理的配慮の必要性を理解し、研究の場で実践できるための基本的な考え方を学ぶ。 授業は、実務家教員（別所、日比、増田）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／学修の進行を確認し、学生の理解を深めるため、適宜助言を行う。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	1．母子支援看護学領域の文献講読を通して専門性を深め、適切な看護介入方法を考えることができる。 2．研究の視点に沿った探求のレベルに応じた研究デザイン、研究方法を理解できる。 3．研究遂行に必要な倫理的配慮について理解できる。 4．論文をクリティークし、プレゼンテーションできる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	指定された資料・課題に沿って事前学習を行う。 学生の関心のあるテーマに関する論文のクリティークを通して自身の研究課題との関連を検討し、発表準備を行う。 各自の研究課題に関連するテーマについて、学会、研修会等に積極的に参加し、学習を深める。 第1～30回　各回、事前学習、発表準備等で1時間以上の時間外学習を必要とする。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第1回　文献の検索方法、文献レビューの方法 第2回　質的研究、量的研究の特徴とそれぞれのまとめ方 第3～4回　探求の深さによる研究のタイプと研究デザイン 第5～12回　母子看護領域の文献を用いたクリティークの実際　プレゼンテーションと討議 1）仮説生成型 2）仮説分析型 3）仮説検証型 第13～16回　インタビューガイド、アンケートの作成方法と実際 第17～20回　データ収集方法の実際 第21～24回　データ分析方法の実際 第25～27回　研究における倫理的配慮の理解と倫理審査の意義 第28～30回　各自の研究テーマに沿った文献・資料の活用と課題の明確化 （プレゼンテーションと討議）
	全て 別所 日比 増田
評価方法 評価基準	授業参加態度25%、プレゼンテーション25%、レポート50%などを合わせて総合的に評価する。
教科書	特になし。
参考書等	講義の中で適宜紹介する。